

第 1 平成 30 年度「学校教育計画」及び「学校評価」事業報告

I めざす学校像

建学の精神

「奉仕のこころ」

- 1 「For Others～奉仕のこころ～、志高く。」(建学の精神の再確認)
- 2 「10 年後の私たちのために」将来の予測不能な社会を生き抜くことのできる人材づくり教育目標、めざす生徒像
 - 1 思いやりや感謝の気持ちや「奉仕のこころ」などを素直に表すことのできる高い人間性の育成
 - 2 基礎学力を十分に積みあげた上で、自分の頭で課題や問題に向き合うことのできる思考力・判断力の育成
 - 3 部活動や学校行事などに努力し共に励まし喜びを分かちあえる豊かな心と健やかな体の育成
 - 4 個々の生徒の個性や能力や特性に合わせ、生徒の力を最大限に伸ばし、生徒・保護者に「行きたい・通わせたい」と思われる学校づくりをめざす。

II 中期的目標

- 1 基礎学力の充実から自ら考える力へ 「授業第一主義」
 - (1) 基礎学力の充実と「主体的・対話的で深い学びへ」
 - ア 授業学力の充実として宿題・課題とその定着確認を日々行う。また、自習室の設置や放課後、長期休業中の学習促進を図る。
 - イ 「主体的・対話的で深い学び」のために ICT 教育やアクティブラーニングを推進する。
※ 学校教育自己診断で「授業が分かりやすく学習習慣がしっかりと身につく授業が行われているか」を平成 30 年度は昨年度比 5 ポイント上げる。(昨年度 53.3%)
 - ウ 各コースの目標を設定する。積極的に資格、検定を取得させる。また、進学・特進コースは模試による学力チェックや英語力の向上を図る。
※ 学校教育自己診断で「生徒が資格(英検・漢検など)取得できるように、熱心に取り組んでいる。」を平成 30 年度は昨年度比 5 ポイント上げる。(昨年度 66.0%)
 - (2) 知・徳・体のバランスの取れた教育と豊かな人間性の醸成 「生徒指導なくして学習指導なし」
 - (1) 授業に集中できる学習環境、授業規律や生活習慣の改善
 - ア 時間の厳守、挨拶、身だしなみを整えさせる。予鈴の実施で「ベル始業」を徹底させる。
※ 学校教育自己診断で「日頃から日常生活のマナーや社会人のルールを守るように取り組んでいる。」を平成 30 年度は昨年度比 5 ポイント上げる。(昨年度 56.9%)
 - (2) 人権意識の醸成
 - ア 人権研修(生徒向け、教職員向け)の実施(差別、ハラスメント、SNS、いじめ等多様な人権教育の指導)
- 3 学び連携できる教員集団
 - (1) 授業力向上の取組み
 - ア 相互授業見学や研究授業・研究討議で授業力向上に努める。また、積極的に外部研修や外部視察を行い、授業力向上の方法や学校運営方法などを学ぶ。
 - イ 若手教員研修の定期的実施
 - (2) 各種研修の実施
 - ア 高大連携や新学習指導要領や e ポートフォリオなどの研修や人権関係やサービスなどの研修を実施する。
 - (3) その他
 - ア 「チーム昇陽」の構築…組織運営の意識を持つ。小会議やミーティングやケース会議の実施。
 - イ コンプライアンス(法令遵守)を徹底させる
 - ウ ホームページの充実(記録、更新の促進)

III 本年度の取組み内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取組み計画・内容	評価指標	自己評価
1 基礎学力の充実から自ら考える力へ	ア 基礎学力の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題・課題とその定着確認 ・自習室の設置 ・放課後、長期休業中の講習の充実 ・高3生、朝読から朝テストへ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断での生徒の「授業関係」肯定的評価 5%上げる。 ・講習の開講日数および参加者増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断「授業関係」中学校 3.8%上昇 (△) 高校 5.1%上昇 (○) ・夏期・冬期講習開講日数2倍増 (○) ・高3生、朝テスト実施 (○) ・若手教員を中心に
	イ「主体的・対話的で深い学び」の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育やアクティブラーニングの推進 ・朝読の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育やアクティブラーニングの研修実施 ・ICT機器の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ICT教育の授業研究 (◎) ・ICT機器の導入 (○)
	ウ 各コースの目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ・英検、GTECの充実 ・特進、進学コースの進路実現 ・進路決定率を高める ・公務員希望者の進路実現 ・パティシエコースに製菓衛生師資格取得へ ・福祉コースの進路実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読の定着率 50%以上 ・GTECの導入 ・学習到達ゾーンCゾーンの合格者増加 ・ ・介護福祉士国家試験合格率 80%以上 ・学校教育自己診断での「進路指導」関係評価 5%上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読の定着率 (○) 中学校 100%、高校 47% ・GTECの導入 (1.2年) ・Cゾーン合格者横ばい (△) ・パティシエ製菓衛生士資格取得へ (○) ・介護福祉士国家試験合格率 77%○(過去最高値) ・学校教育自己診断「進路指導」関係中学校 3.1%上昇 (△) 高校 0.3%上昇 (△)

<p>2 知・徳・体の教育と豊かな人間性の醸成</p>	<p>ア 授業に集中できる学習環境と授業規律</p> <p>イ 人権意識の醸成</p> <p>ウ 学校行事や地域ボランティア、部活動指導の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による挨拶運動の実施 ・予鈴や入室指導の実施 ・遅刻指導の実施 ・通学指導の実施 ・生徒、教職員向け人権研修の実施（SNS、ハラスメント等の研修） ・強化クラブの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回生徒会、部員による挨拶運動実施 ・教員による入室指導後ベル始業の徹底 ・学校教育自己診断「生徒指導関係」肯定的評価5%上げる ・遅刻件数を昨年度比30%減少 ・強化クラブの全国レベル大会出場 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶運動年間実施（○） ・始業2分前予鈴の実施（◎） ・学校教育自己診断「生徒指導関係」中学校8%上昇（○） 高校1%上昇（△） ・遅刻件数昨年比35%減少（◎） ・懲戒件数昨年比30%減少（◎） ・人権研修3/18（○） ・強化クラブの全国大会出場（◎） 中学校 ソフトテニス部、バレーボール部全国優勝 高校 ソフトテニス部全国準優勝
<p>3 学び連携できる教員集団</p>	<p>ア 授業力向上の取り組み</p> <p>イ 各種研修会の実施</p> <p>ウ その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開週間の設定 ・先進校訪問 ・若手研修会「雑士」の定期的実施 ・夏季休業中の外部研修受講 ・各種研修会（人権、高大連携、新学習指導要領など）実施 ・分掌等再編（教職員の学校運営参加意識の醸成） ・学校ウェブサイトの充実 ・外部評価委員会の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・各取組みの実施状況 ・若手研修2か月に1回 ・外部研修5人以上参加 ・学校ホームページの刷新 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開週間（9月） ・先進校訪問10校（◎） ・若手研修会定期実施6回（○） ・外部研修（予備校など）10名（○） ・各種研修会 人権研修3/18（○） ポートフォリオ研修（○） ・分掌再編（◎） ・学力育成委員会設置 コース長設置 ・学校ウェブサイト刷新（◎） ・外部評価委員会設置（○）

第2 平成30年度「学校評価」事業報告

第1回 外部評価委員会 出席者：保護者会会長、地域中学校長、地域代表、大学教授、教育関係者
 学校事務局（校長、教頭、分掌長など）
 平成30年9月8日（土）午後3時から5時実施

第2回 外部評価委員会 出席者：保護者会会長、地域中学校長、地域代表、教育関係者
 学校事務局（校長、教頭、分掌長など）
 平成31年2月23日（土）午後3時から5時実施

学校教育自己診断の結果と分析	外部評価委員会からの意見
<p>(学校教育自己診断結果)</p> <p>【中学校・高等学校生徒】 ほとんどの項目で昨年度比において上昇した。特に、学習面で教材が工夫されていること、資格取得に熱心であること、部活動は学校生活を充実させていることなどが上昇し、教育活動の大枠に対する理解が進んでいると思われる。</p> <p>【中学校・保護者】 ほとんどの項目で昨年度比において上昇した。概ね学校の教育方針や取組みへの理解がなされていると思われる。特に、ホームページなど情報発信が効果的であること、保護者活動が活発であること、人権教育は効果的であることに対して理解されているなどの項目が上昇した。ただ、防犯など安全対策が十分であること、保護者の訪問等に適切に対応しているなどが下がり、課題となった。</p> <p>【教職員】 ある項目で昨年度比を下がったものもあり、学校改革によって、問題や課題に対して取り組んでいる中、厳しい問題意識の表れと思われる。教育計画を立てること、情報モラルを高めること、生徒の自立への指導と対応などに対して、更なる改善をする必要があると認識している。また、ホームページによる情報公開や個々の生徒の進路指導の指導体制などについて、概ね進んでいると認識している。</p>	<p>(外部評価委員会の意見)</p> <p>【第1回外部評価委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番大切なことは、基礎学力の前に「生徒指導なくして学習指導なし」のように学習への姿勢だと思う。まだその上に、主体的な学びをどう作っていくのかを考えてほしい。 ・コースごとの目標を持ち、短期的目標であっても計画的にやってほしい。 ・学力アップに力を入れ、学習環境も変わったことは、子どもや保護者の中からも声が上がっている。 ・朝読は非常に大切だと思う。読解力をつけるかで学力向上が高まる。 ・地域でパティシエコースのケーキを配ったら、大変好評であった。さらに、地域にPRしてほしい。 <p>【第2回外部評価委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の数値が全般的に上がっているが、主観の数値であることや背景を考えるなど、分析する必要がある。先生方の課題意識が高くなると評価が下がる。 ・保護者会として防災セットを購入した割には数値が下がっている。保護者や生徒へのアピールが足りなかったからかもしれない。 ・コースごとの分析を進める。学校は長期にわたって変わっていく。まずは、2～3年後の数値が大切。